

## 中学校全校『学び合い』の実践 ～学習意欲の低い子に着目して～

教育実践高度化専攻  
教育実践リーダーコース  
永田 倫之

### I 問題の所在

中央教育審議会(2008)は、「学習意欲の向上と学習習慣の確立」を含めた7つの基本的考え方をもとに、平成20年に学習指導要領を改訂したり。学習意欲の向上は現行の学習指導要領において重要な課題である。しかし、平成27年度全国学力・学習状況調査において同一世代(平成24年度に小学6年生、平成27年度に中学3年生)では、理科、国語、算数・数学の関心意欲態度の質問項目の肯定的回答が減少している<sup>2)</sup>。このように学習意欲は低下している状況が見受けられる。国立教育政策研究所(2007)は、「学習課題の達成に向けて、子どもたちが互いに刺激し合い助け合い協力し合い協働するならば、子どもたちの学習意欲は促進するし高まる」と述べている<sup>3)</sup>。

このように仲間と協同しながら学習をする教育実践として『学び合い』が挙げられる<sup>4)</sup>。中島ら(2009)は「中学校社会において、生徒自身に追究の手だてを任せたことにより、生徒の学習に向かう姿勢が前向きになり、意欲的な取組がみられるようになった。」ことを明らかにしている<sup>5)</sup>。小林・西川(2003)は中学校理科において、異学年学習を実践し、「異学年間でも課題についての会話が成立し、学び合いは発生すること」を明らかにした<sup>6)</sup>。若山ら(2011)はへき地の小学校における全校『学び合い』算数の実践により、児童同士の会話量、質が高いものと

なり、学習成果が向上したことを明らかにしている<sup>7)</sup>。学習に関する会話量・質や学習成果の向上は学習意欲が高まったために起きたことである。しかし、これは中学校異学年、小学校全校を対象にしたもので中学校全校に関する研究は管見の限り見当たらない。

また、これまで『学び合い』に関連する研究の多くは、学級や異学年等の集団が対象であり、集団がどのように変容するのかについて述べられている。個人を対象とした研究は少ない。そこで本研究では、集団ではなく個人に焦点を置く。そして、学習意欲の低い子に着目する。

### II 研究の目的

全校『学び合い』英語において、学習意欲の低い生徒の学習意欲は向上するのか否かについて明らかにする。

### III 研究の方法

#### 1 調査対象

学習意欲の低い生徒は、教科担任にインタビュー調査を行い、2人以上の教師が「学習意欲が低い」と回答した生徒を選定する。また英語の授業において全校『学び合い』を実施する。  
新潟県公立N中学校

1年2名 2年3名 3年1名 計6名

#### 2 調査期間

平成27年10月13日、12月9日

### 3 調査方法

全校『学び合い』英語の授業において、学習意欲の低い生徒の発話をボイスレコーダーで記録する。また2台のビデオカメラ対角に設置し授業の様子を記録した。加えて、教科担任と学習意欲の低い生徒に対してインタビュー調査を行う。

### 4 分析方法

#### 〈分析1〉

学習意欲の低い生徒を選定するために調査を行った教師に、全校『学び合い』英語の授業時の学習意欲の低い生徒の様子について、インタビュー調査を行う。

#### (質問項目)

Q1, 先生の授業と比べて学習意欲の低い生徒の様子に変化はありますか？

#### 〈分析2〉

全校『学び合い』英語の授業時において、学習意欲の低い生徒の学習時間を下記のカテゴリーに分類し、明らかにする。

活動時間・・・生徒が学習可能な時間

学習活動・・・勉強している、学習に関する質問を受けている、学習に関する質問をしている、学習プリントを取りに行く

その他の活動・・・私語、何もしていない

#### 〈分析3〉

学習意欲の低い生徒に全校『学び合い』英語と学級での『学び合い』ではどちらが意欲的に学習をすることができるのかを明らかにするため、インタビュー調査を行う。

#### (質問項目)

Q1, 全校『学び合い』と学級での『学び合い』はどちらが意欲的に学習することができますか？

Q2, それはどうしてですか？

### IV 結果と考察

全校『学び合い』英語は学習意欲の低い生徒にとって、学習意欲を向上させる実践であれば、そうでない場合もあることが明らかになった。

#### 引用・参考文献及びWebサイト

- 1) 中央教育審議会：「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について(答申)」，2008
- 2) 国立教育政策研究所：『平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果について(概要) 別紙』，2015年(平成27年11月15日閲覧)  
<http://www.nier.go.jp/15chousakekkahouku/summary.pdf>
- 3) 国立教育政策研究所：「学習意欲向上のための総合的戦略に関する研究」，2007年(平成27年11月15日閲覧)  
[https://www.nier.go.jp/05\\_kenkyu\\_seika/pdf/seika/h18/seika\\_h18\\_20\\_2.pdf](https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pdf/seika/h18/seika_h18_20_2.pdf)
- 4) 西川純：「クラスが元気になる!『学び合い』スタートブック」，学陽書房，2010
- 5) 中島千博・三崎隆・西川純・水落芳明：「中学校社会科における『学び合い』に関する臨床研究-第3学年における1年間の継続的な実践を通して-」，臨床教科教育学会誌，第2巻，第1号，P18-28，臨床教科教育学会，2009
- 6) 小林秀樹・西川純：「中学校理科における異学年の学び合い」，臨床教科教育学会誌，第9巻，第1号，P27-34，臨床教科教育学会，2004
- 7) 若山浩子・伊藤善隆・西川純：「へき地・小規模・複式学級を有する学校における全校『学び合い』算数の実践」，臨床教科教育学会誌，第11巻，第1号，P77-88，臨床教科教育学会，2011

指導 西川 純